

パソコン操作

※システムファイルチェッカー: sfc /scannow

※ローカルポリシー: msconfig

2020/6/29

	Vista	7	8	8.1	10
PC設定のカルマ	https://pc-karuma.net/windows-7/		https://pc-karuma.net/windows-8/		https://pc-karuma.net/windows10/
コントロールパネル (control) (Windowsキー+[X])	①スタート⇒コントロールパネル ②スタート⇒すべてのプログラム⇒アクセサリ内のシステムツール⇒コントロールパネル		①チャーム⇒設定チャーム⇒コントロールパネル ②スタート⇒右クリック⇒コントロールパネル		①スタートを右クリック⇒コントロールパネル ②スタート⇒すべてのプログラム⇒Windowsシステムツール内⇒コントロールパネル
システムのプロパティ	①コントロールパネル(すべて)⇒システム⇒システムの詳細設定⇒システムのプロパティ ②コンピューターを右クリック⇒プロパティ⇒システムの詳細設定⇒システムのプロパティ		①PCを右クリック⇒プロパティ⇒システムの詳細設定⇒システムのプロパティ		①エクスプローラよりPCを右クリック⇒プロパティ⇒システムの詳細設定⇒システムのプロパティ ②コントロールパネル(すべて)⇒システム⇒システムの詳細設定⇒システムのプロパティ ③コントロールパネル(すべて)⇒回復⇒システム復元の構成⇒システムのプロパティ
デバイスマネージャ	①コントロールパネル(すべて)⇒デバイスマネージャ ②コンピューターを右クリック⇒プロパティ⇒デバイスマネージャ		①スタートを右クリック⇒デバイスマネージャ		①スタートを右クリック⇒デバイスマネージャ ②コントロールパネル(すべて)⇒デバイスマネージャ ③システムのプロパティ⇒ハードウェアTab⇒デバイスマネージャ
タスクマネージャ	CTRL + Shift + Esc				
サービス	①コントロールパネル(すべて)⇒管理ツール⇒サービス ②システム構成(msconfig)の中のサービスTab				
フォルダオプション	①コントロールパネル(すべて)⇒フォルダオプション ②コントロールパネル⇒デスクトップのカスタマイズ⇒フォルダオプション		①コントロールパネル⇒デスクトップのカスタマイズ⇒フォルダオプション		①エクスプローラ⇒ファイル⇒フォルダと検索オプションの変更⇒フォルダオプション
スタートアップを開く	①スタート⇒すべてのプログラム⇒スタートアップ		Windowsキー+"E"でエクスプローラを起動⇒アドレスバーにShell:startupと入力してEnter		
デスクトップアイコンの設定	①画面の余白を右クリック⇒個人設定⇒デスクトップアイコンの変更		①画面の余白を右クリック⇒個人設定⇒テーマ⇒デスクトップアイコンの設定(見えないときはスクロール)		
スクリーンセーバー	①画面の余白を右クリック⇒個人設定⇒スクリーンセーバー				
拡張子/隠しファイル	①フォルダオプションから		①フォルダオプションから		①エクスプローラ⇒「表示」Tab
向きを変える	CTRL+ALT+矢印キー(→, ←, ↑, ↓)				
画面のアイコンの整列 アイコンのサイズの変更	①画面の余白を右クリック⇒表示⇒		①画面の余白を右クリック⇒表示⇒		
サウンド	①画面の余白を右クリック⇒個人用設定⇒サウンド ②右下のツールバーのスピーカーアイコンを右クリック⇒サウンド		①画面の余白を右クリック⇒個人用設定⇒テーマ⇒サウンド ②右下のツールバーのスピーカーアイコンを右クリック⇒サウンド		
アプリ	①コントロールパネル⇒プログラム⇒プログラムと機能		①スタート⇒設定⇒アプリ⇒アプリと機能		
規定のブラウザの設定 (規定のプログラムの設定)	①スタート⇒規定のプログラム⇒規定のプログラムの設定⇒プログラムを選んで、すべての項目に対し、規定のプログラムとして設定するを実行		①スタート⇒設定⇒システム⇒規定のアプリ⇒Webブラウザで設定したいブラウザを選択		

	Vista	7	8	8.1	10
Cookieの設定	①インターネットオプション⇒「プライバシー」Tab⇒「詳細設定」⇒Cookie				
OSのバージョン確認	スタート⇒コンピュータを右クリック⇒プロパティ⇒(コンピュータの基本的な情報の表示)		Windowsキー+「X」⇒一覧からシステム⇒(コンピュータの基本的な情報の表示)		スタートの設定⇒システム⇒バージョン情報 (例)1703<15063.674>
コマンドプロンプト	①すべてのプログラム⇒アクセサリ⇒ コマンドプロンプト				①スタート⇒すべてのプログラム⇒Windowsシステムツール内⇒ コマンドプロンプト
			② Windowsキー + "R" ⇒ cmd と入力してEnter		
コマンド入力	Windowsキー + "R"				
チャーム (Windows8シリーズのみ)			①画面右下をタップ ②Windowsキー + 「C」		
設定			チャーム⇒設定		スタート⇒ 設定
Cortanaの有効/無効の切替					コルタナをクリック⇒左メニューの「設定」をクリック⇒ オン/オフ
エクスプローラ(新機能)					スタート⇒ エクスプローラ
高速スタートアップの有効/無効の切替			コントロールパネル⇒システムとセキュリティ⇒電源オプション⇒電源ボタンの動作の選択⇒現在利用可能でない設定を変更します⇒ON/OFF		コントロールパネル⇒システムとセキュリティ⇒電源オプション⇒電源ボタンの動作の選択⇒現在利用可能でない設定を変更します⇒ON/OFF
エクスペリエンス インデックスで性能スコアを測定	①コントロールパネルの「パフォーマンスの情報とツール」 ②コントロールパネル(すべて)⇒システム ③コンピューターを右クリック⇒プロパティ	①コントロールパネルの「パフォーマンスの情報とツール」 ②コントロールパネル(すべて)⇒システム ③コンピューターを右クリック⇒プロパティ	コマンドプロンプトから実行 winSAT.exe formal		検索ボックスに「Power」と入力し、「Windows PowerShell」を右クリック/長押し、「管理者として実行」Get-CimInstance Win32_WinSat
Windows Update	① コントロールパネル (すべて)⇒Windows Update ②コントロールパネル⇒システムとセキュリティ⇒Windows Update		①コントロールパネル⇒システムとセキュリティ⇒Windows Update ② チャーム ⇒設定 チャーム⇒PC設定の変更⇒(PC設定) Windows Update		①スタート⇒ 設定 ⇒更新とセキュリティ⇒Windows Update
ドメインでのアカウントの制御	・コントロールパネル⇒ユーザーアカウント⇒ 他のユーザーにこのコンピュータへのアクセスを許可 ⇒				
ドメイン参加	コンピューターを右クリック⇒プロパティ⇒システムの詳細設定⇒システムのプロパティの「 コンピュータ名 」Tab⇒「 変更 」		コンピューターを右クリック⇒プロパティ⇒システム⇒「システム」内の「 コンピュータ名、ドメイン及びワークグループの設定 」の中にある「 設定の変更 」を選択⇒システムのプロパティの「 コンピュータ名 」Tab⇒「 変更 」		スタート⇒設定⇒アカウント⇒職場または学校にアクセスする⇒ドメインに参加または参加をやめる⇒+接続⇒このデバイスをローカルのActive Directoryに参加させる。
ローカルエリア接続(ネットワークアダプタ)	①ネットワークを右クリック⇒プロパティ⇒ネットワーク接続の管理 ②コントロールパネル(すべて)⇒ネットワークと共有センター⇒ネットワークの接続の管理	①ネットワークを右クリック⇒プロパティ⇒アダプタの設定変更 ②コントロールパネル(すべて)⇒ネットワークと共有センター⇒アダプタの設定変更	①ネットワークを右クリック⇒プロパティ⇒アダプタの設定変更 ②コントロールパネル(すべて)⇒ネットワークと共有センター⇒アダプタの設定変更		①ネットワークを右クリック⇒プロパティ⇒アダプタの設定変更 ②コントロールパネル(すべて)⇒ネットワークと共有センター⇒アダプタの設定変更

	Vista	7	8	8.1	10
アカウント	①コントロールパネル(すべて)⇒ユーザアカウント ②コントロールパネル⇒ユーザアカウントの追加または削除		①チャーム⇒設定 チャーム⇒PC設定の変更⇒アカウント?		①コントロールパネル(すべて)⇒ユーザアカウント ②スタート⇒設定⇒アカウント
新規アカウントの作成 (ローカルアカウント)	①コントロールパネル(すべて)⇒ユーザアカウント⇒別のアカウント管理⇒新しいアカウントの作成 ②コントロールパネル⇒ユーザアカウントの追加または削除⇒新しいアカウントの作成		チャーム⇒設定チャーム⇒PC設定の変更⇒アカウント⇒その他のアカウント⇒アカウントの追加⇒Microsoftアカウントを使わずにサインインする⇒ローカルアカウント⇒新ユーザ名/アカウントの種類などを入力		①コントロールパネル(すべて)⇒ユーザアカウント⇒別のアカウントの管理⇒PC設定で新しいユーザを追加⇒その他のユーザをこのPCに追加⇒このユーザのサインイン情報がありません⇒Microsoftアカウントを保たないユーザを追加する
新規アカウントの作成 (Microsoftアカウント)			①https://login.live.com/login.srf?lw=1 にアクセス ②サインイン画面にて作成したいMicrosoftアカウントを入力して「作成」をクリック ③有効なメールアドレスか携帯の電話番号を入力して「次へ」 メールアドレスまたは携帯のショートメールに確認コード(4桁の数字)が入るのでパソコン画面の確認コード入力欄にその数字を入力して「次へ」		
ローカルアカウントのユーザ作成/追加	スタート⇒コントロールパネル⇒ユーザアカウントの追加または削除⇒新しいアカウントの作成⇒新ユーザ名/アカウントの種類などを入力		チャーム⇒設定チャーム⇒PC設定の変更⇒アカウント⇒その他のアカウント⇒アカウントの追加⇒Microsoftアカウントを使わずにサインインする⇒ローカルアカウント⇒新ユーザ名/アカウントの種類などを入力		スタート⇒設定⇒アカウント⇒家族とその他のユーザ⇒その他のユーザをこのPCに追加⇒このユーザのサインイン情報がありません⇒Microsoftアカウントを保たないユーザを追加する
Microsoftアカウントのユーザ作成/追加 <input type="text" value="suzuki@spt.co.jp"/>			チャーム⇒設定チャーム⇒PC設定の変更⇒アカウント⇒その他のアカウント⇒アカウントの追加⇒		スタート⇒設定⇒アカウント⇒家族とその他のユーザ⇒その他のユーザをこのPCに追加⇒Microsoftアカウントを入力して先に進む
アカウントの切替 マイクロソフト⇒ローカル			チャーム⇒設定チャーム⇒PC設定の変更⇒アカウント⇒お使いのアカウントで関連付けを解除する		スタート⇒設定⇒アカウント⇒ローカルアカウントでのサインインに切り替える
ローカル⇒マイクロソフト			チャーム⇒設定チャーム⇒PC設定の変更⇒アカウント⇒お使いのアカウントでMicrosoftアカウントに関連付けする		スタート⇒設定⇒アカウント⇒Microsoftアカウントでのサインインに切り替える
システム構成	msconfigを実行				
メモリ診断		「メモリ」と検索 ⇒Windowsメモリ診断			「メモリ」と検索 ⇒Windowsメモリ診断
クリーンブート	<ul style="list-style-type: none"> ・スタート⇒msconfigを検索⇒システム構成画面が起動 (操作方法は常駐アプリケーションを停止してトラブルの原因を確認する方法のマニュアル参照) ・スタートアップ:タスクマネージャを開いて、無効にする ・サービス:Microsoftのサービスを全て隠してから、すべて無効にする (再起動してどうなるかを見る) 				
セーフモードからの起動	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの電源を入れ、メーカーロゴが出たらF-8キーを連打する。 ・「詳細ブート画面」が出たらF-8キーを離し、「セーフモード」を選択 ・チャームメニューを表示させる ・Shiftキーを押しながら「電源」を選択し再起動させる ・オプションの選択画面で、「トラブルシューティング」 ・トラブルシューティングの選択画面で、「詳細オプション」 ・詳細オプションの画面で、「スタートアップ設定」 ・スタートアップ設定の画面で、「再起動」を実施 ・再起動後のスタートアップ設定の画面から[F4]キーを押して「セーフモードを有効にする」を選択して、起動を実施する ・Shiftキーを押したままで「電源」をONし起動させる ・既定の起動設定やその他のオプションの変更 ・その他のオプションの選択 ・トラブルシューティング ・詳細オプション ・スタートアップ設定 ・「再起動」ボタン ・番号(4.5.6など)入力 				
アクションセンター	①  をクリック(右下のツールバー) ②コントロールパネル(すべて)⇒アクションセンター				

	Vista	7	8	8. 1	10
トラブルシューティング	①コントロールパネル(すべて)⇒トラブルシューティング ②コントロールパネル(すべて)⇒回復⇒問題のトラブルシューティング				①スタート⇒設定⇒更新とセキュリティ⇒トラブルシューティング
高度な回復ツール	①コントロールパネル⇒回復⇒高度な回復方法 ⇒(方法1)以前に作成したシステムイメージを使用して回復する ⇒(方法2)Windowsの再インストール(ディスクが必要)				①コントロールパネル(すべて)⇒システムとセキュリティ⇒セキュリティとメンテナンス⇒回復⇒高度な回復ツール ★回復ドライブの作成 ★システムの復元を開く ★システムの復元の構成
回復	コントロールパネル⇒回復 ①システムの復元(復元ポイントに戻す) ②高度な回復方法(上述の高度な回復ツールの項を参照) ③ファイルの復元 ④プログラムのアンインストール ⑤問題のトラブルシューティング				スタート⇒設定⇒更新とセキュリティ⇒回復 ①このPCを初期状態に戻す 個人用のファイルを保持するか/削除するかを選択してWindowsの再インストールができる ②PCの起動をカスタマイズする USBやDVDから起動して、 ・Windowsスタートアップ設定の変更 ・システムイメージからのWindowsの復元 ③その他回復オプション (Windows Defenderセキュリティセンター) Windowsのクリーンインストール(ディスク等が必要)
復元(復元ポイント)	①コントロールパネル(すべて)⇒バックアップと復元センター⇒システムの復元を使ってWindowsを修復 ②コントロールパネル⇒(システムとメンテナンス)バックアップの作成⇒システムの復元を使ってWindowsを修復	①コンピューターを右クリック⇒プロパティ⇒システムの詳細設定⇒システムのプロパティの「システムの保護」Tab(作成・構成・復元が可) ②コントロールパネル(すべて)⇒システム⇒システムの詳細設定⇒システムのプロパティの「システムの保護」Tab(作成・構成・復元が可) ③コントロールパネル⇒システムとセキュリティ⇒システム⇒システムの詳細設定⇒システムのプロパティの「システムの保護」Tab(作成・構成・復元が可)			①PCを右クリック⇒プロパティ⇒システムの詳細設定⇒システムのプロパティの「システムの保護」Tab(作成・構成・復元が可) ②コントロールパネル(すべて)⇒回復⇒システム復元の構成⇒システムのプロパティの「システムの保護」Tab(作成・構成・復元が可) ③コントロールパネル⇒システムとセキュリティ⇒システム⇒システムの保護⇒システムのプロパティの「システムの保護」Tab ④システムのプロパティ⇒システムの保護Tab⇒システムの復元
スタートアップ修復	・パソコンの電源を入れ、メーカーロゴが出たらF-8キーを連打する。 ・「詳細ブート画面」が表示されたら、「コンピュータの修復」を選択し、各種システム回復オプションを表示 ①スタートアップ修復を選択				設定⇒更新とセキュリティ⇒回復⇒今すぐ再起動⇒(復元専用画面)⇒トラブルシューティング⇒詳細オプション⇒スタートアップ修復
ファイル履歴からの復元	コントロールパネル⇒システムとセキュリティ⇒バックアップからのファイルの復元⇒ファイルの復元				コントロールパネル⇒(システムとセキュリティ)ファイル履歴でファイルのバックアップコピーを保存⇒個人用ファイルの復元
イメージバックアップ(Cドライブ対象)	コントロールパネル⇒(システムとセキュリティ)バックアップの作成⇒システムイメージの作成 コントロールパネル(すべて)⇒バックアップと復元⇒システムイメージの作成				コントロールパネル⇒(システムとセキュリティ)バックアップと復元(Windows7)⇒システムイメージの作成
バックアップを戻す	スタート⇒すべてのプログラム⇒メンテナンス⇒バックアップと復元⇒システムの設定またはコンピュータの回復⇒高度な回復方法⇒「以前に作成したシステムイメージを使用してコンピュータを回復する」 (操作の前にドキュメントをバックアップできる)				スタート⇒設定⇒更新とセキュリティ⇒回復⇒今すぐ再起動⇒(復元専用画面)⇒トラブルシューティング⇒詳細オプション⇒イメージでシステムを回復
システム修復ディスクの作成(DVD) 回復ドライブの作成(USB)	※DVDのみ コントロールパネル⇒(システムとセキュリティ)バックアップの作成⇒システム修復ディスクの作成(DVD) コントロールパネル(すべて)⇒バックアップと復元⇒システム修復ディスクの作成(DVD)		※DVDのみ コントロールパネル⇒システムとセキュリティ⇒ファイル履歴⇒Windows7のファイルの回復⇒システム修復ディスクの作成(DVD) コントロールパネル(すべて)⇒回復⇒回復ドライブの作成	※USBのみ	※DVD、USB両方 コントロールパネル⇒(システムとセキュリティ)バックアップと復元(Windows7)⇒システム修復ディスクの作成(DVD) コントロールパネル⇒(システムとセキュリティ)コンピュータの状態を確認⇒回復⇒(高度な回復ツール)回復ドライブの作成⇒回復メディア作成ツール

	Vista	7	8	8.1	10
OSが起動できない状態からの修復 (BIOS起動)	<p>・パソコンの電源を入れ、メーカーロゴが出たらF-8キーを連打する。</p> <p>・「詳細ブート画面」が表示されたら、「コンピュータの修復」を選択し、各種システム回復オプションを利用出来る</p> <p>①スタートアップ修復(主要な設定や個人データなどを保持したままWindowsの異常箇所を修復)</p> <p>②システムの復元</p> <p>③システムイメージの回復</p> <p>④再セットアップ(工場出荷時に戻す)</p>	<p>・パソコンの電源を入れ、メーカーロゴが出たらF-2などのキーを連打する。(+, F11, F12, Oなど機種により異なる)</p> <p>・「BIOSセットアップユーティリティ画面」が表示されたら、「Exit」を選択⇒「HDD Recovery」を選択⇒「Yes」でRecoveryを実行⇒(キーボード)IME選択⇒トラブルシューティング⇒各種</p> <p>①PCのリフレッシュ(主要な設定や個人データなどを保持したままWindowsを再インストール)</p> <p>②PCを初期状態に戻す(工場出荷時に戻す。全てが消える)</p> <p>③リカバリーツール(ハードディスク内の再セットアップ用データを使用して再セットアップを行う)</p>			<p>・パソコンの電源を入れ、メーカーロゴが出たらF-2などのキーを連打する。(+, F11, F12, Oなど機種により異なる)</p> <p>・「BIOSセットアップユーティリティ画面」が表示されたら、「Exit」を選択⇒「HDD Recovery」を選択⇒「Yes」でRecoveryを実行⇒(キーボード)IME選択⇒トラブルシューティング⇒各種</p> <p>①PCのリフレッシュ(主要な設定や個人データなどを保持したままWindowsを再インストール)</p> <p>②PCを初期状態に戻す(工場出荷時に戻す。全てが消える)</p> <p>③リカバリーツール(ハードディスク内の再セットアップ用データを使用して再セットアップを行う)</p>
(システム修復ディスク[DVD]からの起動)	<p>システム修復ディスク[DVD]から起動するシステム回復オプションで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ修復 ・システムの復元 ・システムイメージの回復 ・再セットアップ(工場出荷時に戻す)などを実行できる 				<p>システム修復ディスク[DVD]から起動する詳細オプションで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムの復元 ・イメージでシステムを回復 ・スタートアップ修復などを実行できる
(回復ドライブ[USB]からの起動)			<p>チャーム⇒設定チャーム⇒PC設定の変更⇒「保守と管理」⇒「全般」⇒今すぐ再起動⇒デバイスの使用⇒EFI USB Device⇒(キーボード)IME選択⇒トラブルシューティング⇒各種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCのリフレッシュ ・PCを初期状態に戻す ・リカバリーツール 	<p>チャーム⇒設定チャーム⇒PC設定の変更⇒「保守と管理」⇒「回復」⇒今すぐ再起動⇒デバイスの使用⇒EFI USB Device⇒(キーボード)IME選択⇒トラブルシューティング⇒各種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCのリフレッシュ ・PCを初期状態に戻す ・リカバリーツール 	